

# 令和6年度 課題研究Ⅰ《文系》オリエンテーション

## 1. 目標

課題研究を通して、問題発見・解決能力や、思考力、課題解決に向けて他者と協調する態度を培う。さらに、課題研究論文やポスターの作成を通して自らの考えをまとめ、分かりやすく説明できる技能の習得を図る。

## 2. 具体的ステップ

- ・オリエンテーション・講座分け（本時）

- ・輪読会・プレゼンテーション・グループ分け

5～4人チームで興味範囲の論文を検索し、読む。その後、パワーポイントでプレゼンテーションを行う。論文とプレゼンテーションというものを知る。

- ・テーマ決定・研究計画書の作成

ゼミに分かれて意見を交換しながら、研究テーマ及び調査方法の検討を行う。

- ・研究調査

調査を行うと同時に中間報告会（11月）に向けてのまとめも行う。

- ・論文作成

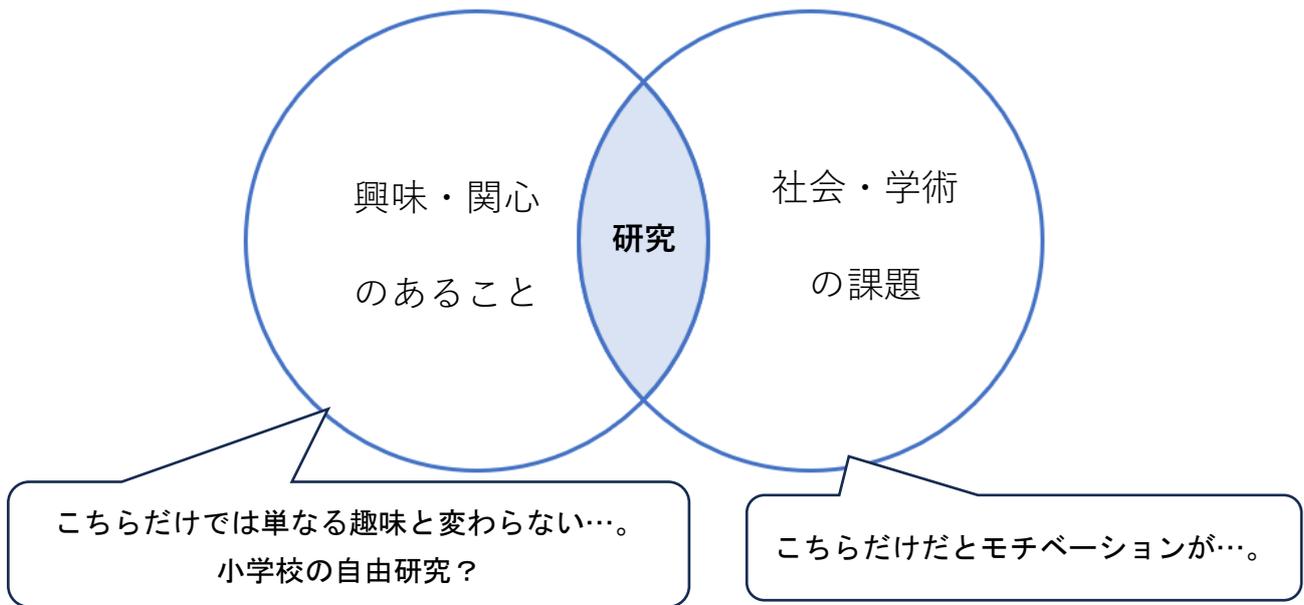
ポスター作成のための原稿としての論文作成。細かい体裁は、3年生の英語発表後に丁寧に整えていく予定なので、まずは内容を深める。

- ・ポスター作成

## 3. 年間計画

月	日	活動内容	備考
4	18	オリエンテーション・講座分け	
	25	輪読会・プレゼン準備・練習	
5	2		
	9		
	16	中間考査	
	23		球技大会予備日
6	30	修学旅行	
	6	プレゼン発表	
	13	プレゼン発表	
	20	グループ分け・テーマ検討	
7	27	期末考査	
	4		
	11		
7	18	テーマ決定・研究計画書	45分授業
	夏季休業(研究調査)		
9	5	オープニング	
	12	研究・調査	
	19		
	26		月曜日の時間割
10	3		
	10	中間考査	
	17		
	24		
	31		
11	7		月曜日の時間割
	14	中間報告会	
	21	1年生インターシップ(仮)	
	28	期末考査	
12	5	論文作成・追加調査(必要に応じて)	
	12		
	19		
冬季休業			
1	9		
	16		
	23	論文締切	
	30	ポスター作成・追加調査(必要に応じて)	
2	6	推薦特色入試	
	13		
	20	学年末考査	
	27	学年末考査	
3	6		
	13	サカハン大会	
春季休業(ポスター作成)			

#### 4. 取り組む課題を見いだす



#### 5. 社会・学術の課題にはどのようなものがあるか

①2015年の「国連持続可能な開発サミット」において国際連合が「持続可能な開発目標SDGs」として掲げた国際目標を参考に見よう👉

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/>

②「夢ナビ」のサイトで気になるワードと大学の研究を結びつける👉

<https://yumenavi.info/>



#### 6. キーワードを記録しよう

興味・関心のある言葉	将来、進みたい進路に関連する言葉

#### 7. 講座を選ぼう

A	B	C	D
貧困・飢餓・福祉・ 国際協力 (SDGs①②③⑱)	教育・不平等・法 (SDGs④⑤⑩⑱)	衛生・エネルギー・ 気候変動・ 生物多様性 (SDGs⑥⑦⑬～⑮)	経済・産業・ まちづくり (SDGs⑧⑨⑪⑫)

※「私たちの実現したい未来」という視点をもって選んでください。

※研究グループに分かれるのは、サイエンスデー以降です。まずは4講座に分かれます。

## 令和6年度 第2回 文系課題研究

### 1 担当教員及び使用教室

A	貧困・飢餓・福祉・国際協力	〇〇〇〇先生	〇〇〇〇先生	2年8組
B	教育・不平等・法	〇〇〇〇先生	〇〇〇〇先生	社会科教室
C	衛生・エネルギー・気候変動 ・生物多様性	〇〇〇〇先生	〇〇〇〇先生	2年10組
D	経済・産業・まちづくり	〇〇〇〇先生	〇〇〇〇先生	2年9組

### 2 各講座 teams コード（登録）

### 3 今後の動き

月	日	活動内容	備考
4	18	オリエンテーション・講座分け	
	25	輪読会・プレゼン準備・練習	
5	2		
	9		
	16	中間考査	
	23		球技大会予備日
	30	修学旅行	
6	6	プレゼン発表	
	13	プレゼン発表	
	20	グループ分け・テーマ検討	
	27	期末考査	

### 4 課題研究とは？

- ・研究を行い論文を作成することが目的（好きなことの調べ学習ではない）。いわば大学の研究。
- ・①先行研究の調査、②課題発見、③調査・研究、④考察、⑤問題解決へのアプローチのプロセスが必要。

\*先行研究を調べるのが必須。インターネットで情報を拾うことではない。論文を読むこと。

4月～6月上旬は、その練習として、仮グループで論文を見つけ、読み、解説する（輪読会）。

さらにプレゼンテーションでそれを発表する（プレゼン発表）。上手にプレゼンする技術も社会で生きる力である。

## 5 グループで探す論文のテーマを決めよう

※「法」「経済」などではテーマが広すぎます。例えば、「高校生の犯罪における法律」のようにポイントをある程度しぼること。そうしないと論文がヒットしすぎて探すのに苦労します。

※また、壮大なテーマよりも、自分たち（高校生）の暮らしに密着したようなテーマを選ぶ方が研究しやすいです。

テーマ：
------

## 6 論文を探そう

『課題研究メソッド』 p. 58 参照 (Google Scholar がおすすめ)

20 ページ程度の短めの論文を探しましょう。ただし、自然科学系(理系)の論文は避けること。

## 7 輪読会

各自読めたら、論分のポイントをまとめよう。『課題研究メソッド』 P. 60 参照。

論文の目的は何か。	
どのような組織や個人が行ったのか。	
どのように目的を達成しようと試みたのか	
目的はどの程度達成できたのか。	
論文に対するあなたの疑問点・感想など。	

# 令和6年度 第3回 文系課題研究

## 1 今後の動き

月	日	活動内容	備考
4	18	オリエンテーション・講座分け	
	25	輪読会・プレゼン準備・練習	
5	2		
	9		
	16	中間考査	
	23		球技大会予備日
	30	修学旅行	
6	6	学びみらいPASS	
	13	プレゼン発表	
	20	プレゼン発表・グループ分け・テーマ検討	
	27	期末考査	

## 2 プレゼンテーションとは？

『課題研究メソッド』 p.141～

### ①伝えたいことを明確に

プレゼンテーションはこれ（伝えたいこと）を伝えるための手段と考えよう。聞く人が興味を持つような工夫\*ができると◎

\*画像を入れる、動画を入れる、聴衆に問いかけるなど

### ②聴衆がどういう人かを考えよう

聴衆が刈谷高生なら、刈谷高校のことをいちいち説明する必要はないし、専門的な話がかみ砕いてわかりやすく説明しないといけない。

### ③今回のプレゼンは選んだ論文に関する以下のことを説明

論文のタイトル（表紙）	『課題研究メソッド』 p.142
論文の目的は何か。	
どのような組織や個人が行ったのか。	
どのように目的を達成しようと試みたのか。	
目的はどの程度達成できたのか。	
論文に対するあなたの疑問点・感想など。	

※順番は自由。感想から始めるのもおもしろい。

※画像を使用したら「引用文献」をスライドに示す。『課題研究メソッド』 p.142

※6月13日及び6月20日に発表。

# 令和6年度 第2学年 文系課題研究Ⅰ

## リサーチクエスチョンを立てよう

### 講座 [A・B・C・D] ( ) 班

( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )、( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )  
( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )、( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )  
( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )、( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

#### ① 研究テーマ (仮)

--

研究テーマは「社会的課題を解決する」という視点をもたせること。研究テーマ (仮) が決定したら担当教員にチェックをしてもらい、OKであれば②以降に進む。

#### ② 研究テーマに対して「問い」を立てよう → 『課題研究メソッド』 p.44

研究テーマが決まっただけでは、まだ「何を明らかにするのか」が曖昧であることが多い。多くの問いを立てて答えを探し、また問いを立て答えを探す…というプロセスを重ね、この課題研究全体で明らかにしたい問い、すなわち「リサーチクエスチョン」を導く。

① 言葉の意味や定義を問う「問い」
② 原因 (なぜ) を問う「問い」
③ 信ぴょう性を問う「問い」
④ 比較を行う「問い」
⑤ 先行研究・先行事例を問う「問い」
⑥ 影響を問う「問い」
⑦ 方法や関連性を問う「問い」

③ 「問い」の答えがすぐに見つかるか、確認する【タブレット活用】

表に答えを記入していく。新たな問いが出てくれば追加で記入する。

④ すぐに答えが見つからない「問い」 『課題研究メソッド』 p.51

これが本当にリサーチクエスションになりうるのか、以下で検証していく。

実際に研究を進めていくとして、『課題研究メソッド』 p.55 を参考に

**A. どの地域を対象とするのか？**

「地方」「発展途上国」などではなく、対象を明確にしなくてはならない。かといって検証不可能な国・地域を対象とするのも不適切。

**B. 研究の対象者はどのような人か？**

上で立てた「問い」を明らかにするためには、誰に対して調査をするべきか。「日本人の●●に対する意識」を調べるために「刈高生」のみを対象として調査するのは不適切。

**C. いつの時代に焦点をあてるのか？**

**D. どのような状況を想定しているか？**

「不平等」「差別」といった曖昧な言葉ではなく、それらが具体的にどのような状況を指しているのか明確にする。

**E. どの学術分野に重点を置いて研究を行うのか？**

同じ研究テーマであっても、経済学から切り込むのか、政治学から切り込むのかでまったく違った研究となる。あれもこれも、は時間的に不可能なので、重点を置く分野を明確にする。

⑤ 導き出したリサーチクエスション

進捗状況を確認するため、このプリントは未完成でも授業の最後に提出すること。

令和6年度 第2学年 文系課題研究 I

研究課題 決定シート

講座 [A・B・C・D] ( ) 班

( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )、( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )  
( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )、( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )  
( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )、( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

① 研究テーマ (確定)

--

② 研究意義 (問題は何か、その解決がどう役立つか)

問題点
どう役立つか

③ 仮説と、それを明らかにするための調査方法

仮説
調査方法 『課題研究メソッド』 p.73

④ 夏季補習の時間にやるべきこと (計6時間)

--

○ 提出日 7月18日 (木) (各講座の担当の先生まで)

# 令和6年度 第2学年 文系課題研究Ⅰ 今後のながれ

## ① 計画表

9	5	オープニング	
	12	研究・調査	
	19	研究・調査	
	26		月曜日の時間割
10	3	研究・調査	
	10	中間考査	
	17	研究・調査	
	24	研究・調査	
	31	中間報告書の作成	
11	7		月曜日の時間割
	14	中間報告書の作成	
	21	★1年生インターンシップ	
	28	期末考査	
12	5	論文作成・追加調査(必要に応じて)	
	12	論文作成・追加調査(必要に応じて)	
	19	論文作成・追加調査(必要に応じて)	
冬季休業			
1	9	論文作成	
	16	論文作成	
	23	論文締切	
	30	ポスター作成	
2	6	推薦特色入試	
	13	ポスター作成	
	20	学年末考査	
	27	学年末考査	
3	6	ポスター作成	
	13	サカハン大会	
春季休業 (ポスター作成)			

\*ポスター作成が3年生にずれこむことは想定内であるが、論文は年度内に完成させる。

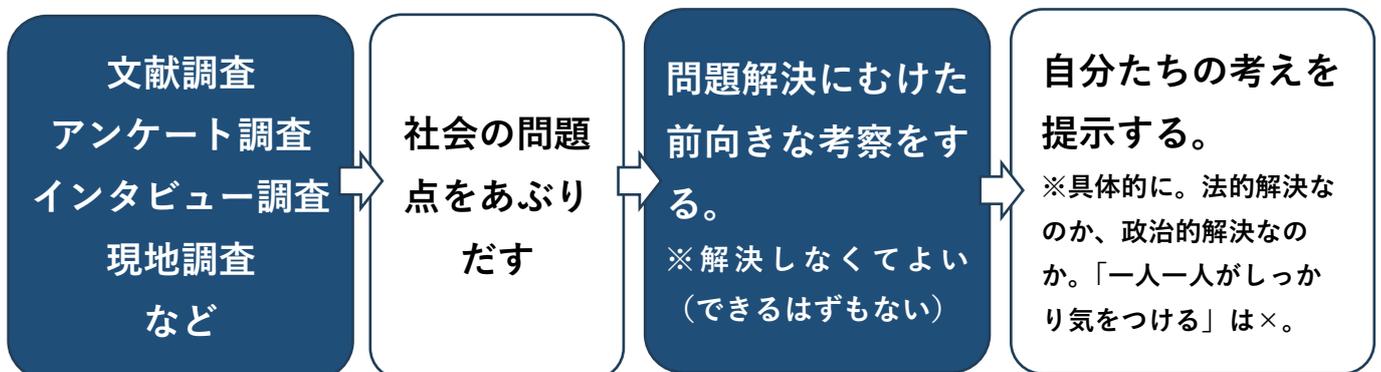
\*論文・ポスターの作成については、後日、別途指示がある。

## ② 1年生インターンシップについて (計画表★印)

中間報告書(1年生に印刷して配布します)をもとに、1年生のクラスへ行きプレゼンテーションする。1班につき、1回か2回。質疑応答ふくめて10分程度。テーマしか言えない…なんてことがないようにすること。

この日の課題研究の時間は2時間目ではなく、6時間目に授業変更されます。

## ③ 研究のイメージ



\*課題研究はアンケート発表の場ではなく、みずから問題点(課題)を発見しみずからその解決にむけたアイデアを考察する能力を向上させる場である。これからの社会で必要とされる能力。最終的にうまくいかないこともあるかもしれないけど前向きにがんばろう。

#### ④外部機関との連携について

インタビュー調査や現地調査を行う目的で外部機関と連携したい場合、担当の先生（市川）に相談すること。自分たちで連絡をとるより、学校の先生が仲介した方がうまくいく可能性がちょっとだけ高いかも。

今年度すでに仲介した機関等…刈谷市内の中学校、刈谷の子ども食堂、刈谷・知立の就業継続支援事業所  
一般企業（寒天メーカー）、外国人留学生

#### ⑤アンケートの作成について

「アンケートの作り方」の Word ファイルが、各講座の teams に入っているので参考にすること。（“…”→開く  
→アプリで開く、の手順で開く）

アンケートを作成したら担当の先生に確認してもらうこと。自分たちの目的に応じたアンケート内容になっているだろうか。

例) 10代の投票率の低さの原因を調査したい → 刈高生に「(仮に投票権があったとして) 投票に行かない理由は何ですか」と聞く

\* 「時間がない」「政治に興味がない」あたりが上位にくることが容易に想像できるが、わざわざアンケートをとる意味があるだろうか。同様の調査がすでにネット上にあるのでは？（教科書等でもよく見る）

\* 「時間がない」や「政治に興味がない」という回答の中にも、人によってさまざまな背景（家庭的背景、教育的背景、選挙制度の問題など）があるはず。その1つ1つを研究で深めていかなければならないのに、このアンケートでは内容が浅すぎて有効な回答が得にくい。

アンケートを校内で実施したい場合は、アンケート作成後、Word データをそれぞれの講座の teams の「ファイル」にアップし、アンケート対象者を担当の先生に伝える。「1年生」「全校生徒」「教員」「全校生徒および教員」。外部に依頼したい場合は担当の先生に相談する。

令和6年度 第2学年 文系課題研究Ⅰ 中間報告書 文系( )班

( )組( )番 氏名( )、( )組( )番 氏名( )  
( )組( )番 氏名( )、( )組( )番 氏名( )  
( )組( )番 氏名( )、( )組( )番 氏名( )

① 研究テーマ

--

② 研究意義(社会的課題及びその解決がどう役立つか)

(1) 課題
(2) どう役立つか

③ 仮説及びすでに検証・調査したこと

(1) 仮説
(2) すでに検証・調査したこと

④ 今後の課題

--

## 令和6年度 第2学年 文系課題研究Ⅰ 論文作成について

### ○今後のスケジュールについて

1月に論文の提出日があります。授業担当者に指導をあおぎながら、できるだけ良い論文を仕上げてください。最終的な評価は「課題研究評価表」に基づき行います。

12	5	論文作成・追加調査(必要に応じて)	
	12	論文作成・追加調査(必要に応じて)	
	19	論文作成・追加調査(必要に応じて)	
冬季休業			
1	9	論文作成	
	16	論文作成	
	23	論文締切	
	30	ポスター作成	
2	6	推薦特色入試	
	13	ポスター作成	
	20	学年末考査	
	27	学年末考査	
3	6	ポスター作成	
	13	サカハン大会	
春季休業 (ポスター作成)			

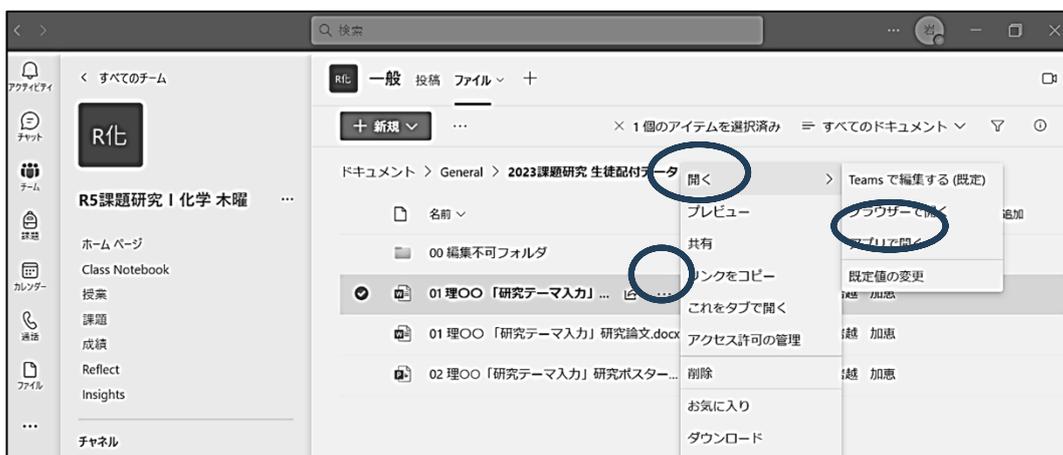
### ○はじめに

各講座(A~D)のteams「ファイル」の中にある「文〇〇「研究テーマ入力」研究論文を自分たちの班のフォルダにコピーする。

コピーしたファイル名の「研究テーマ入力」の部分に論文タイトルを入力する。

### ○論文作成時の注意事項

論文作成をするときに、デスクトップアプリで開いて編集をしてください。(下図参照)



### ○論文のバックアップについて(裏面)

各グループの「一般」チャンネル内に、論文のバックアップ場所を作っておきます。別紙を参照に、授業の終わりにバックアップを取るようにしてください。

### ○卒業生の参考論文

令和五年度卒業の文系生徒の論文を各講座(A~D)のteams「ファイル」に入れておきます。論文作成の参考にしてください。

## ●論文の書き方

- ・『課題研究メソッド』p.134～137を参考に。
- ・A4 サイズで4 ページ分とする。
- ・タイトル、見出しは MS P ゴシック、本文は MS P 明朝で書く。
- ・フォントサイズは論文タイトル 12、その他 9 で書く。

### ①表紙 →不要

### ②要旨

要旨は最後に書く。

要旨は、研究内容のポイントを短くまとめたもの。「序論」「研究方法」「結果・考察」「結論・展望」の内容をそれぞれ1文程度でまとめ、接続詞などを使って、意味が通るようにつなげるとよい。

### ③序論 (はじめに)

序論 (はじめに) は、研究背景、研究目的・意義) をまとめたものである。

### ④基礎 →省略しても良い。論文を理解するうえで必要な専門知識などについて説明する。

### ⑤研究方法

研究方法を書く目的は2つある。①おこなった研究方法の妥当性を示すため。調査方法を選んだ理由を述べ、その研究方法が信頼されうるものだと証明しなければならない。②読者が研究を再現できるようにするため。後輩が皆さんの研究を受け継ぐことも考えられる。そのためにも、具体的内容がわからない記述は避ける。

### ⑥結果・考察

結果は、各調査から得られたデータから言えることを述べる。調査結果を補足するための図や表があるとよい。考察は、得られた結果に対して考察し、そのような結果が出た理由や、分析によって得られた事実を引き出す。

### ⑦結論

結論は、取り組んだりサーチクエスチョンへの答えを示す締めくくりの部分である。研究の目的を再度示し、得られた研究結果をもとに論理を組み立て、その答えを書く。※この結論の部分では、結果や考察で述べられていない新たな内容の記述は行わない。

### ⑧謝辞

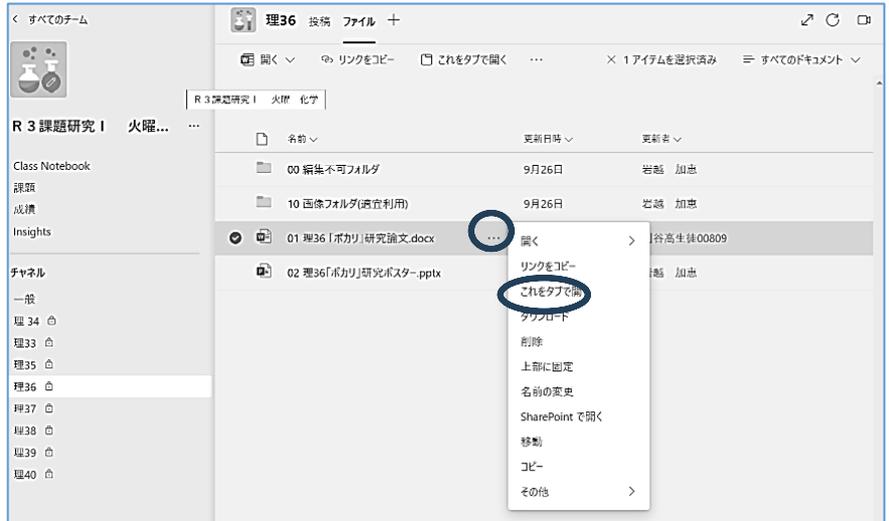
研究は完全に一人でおこなうことは難しい。誰がどのようにに関わり、研究の手助けをしてくれたのかを記載し、感謝の意を述べる。

### ⑨参考文献 →参考文献の書き方は『課題研究メソッド』p.176～177を参照

### ○論文のバックアップについて

①バックアップをとる論文の「…」をクリック。

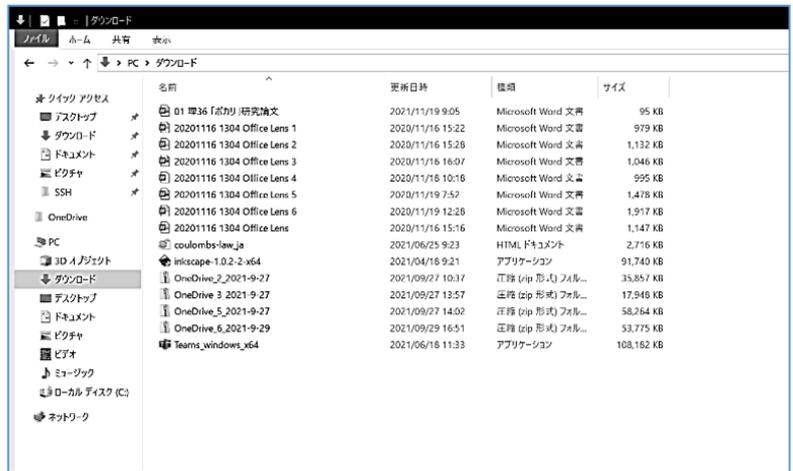
ダウンロードをクリックし、右上にある縮小マーク（□が2つ重なっているマーク）を押す。



②ダウンロードフォルダを開くと、先ほど teams からダウンロードした論文がある。この論文のファイル名を

文〇〇 「テーマ名」 〇/〇 (日付)  
に変更する。

名前の変更後、右上の縮小マークを押す。

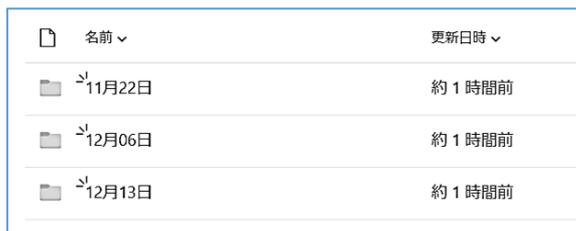


③teams に戻り、左上の<マークを押し、「一般」の「ファイル」をクリックする。

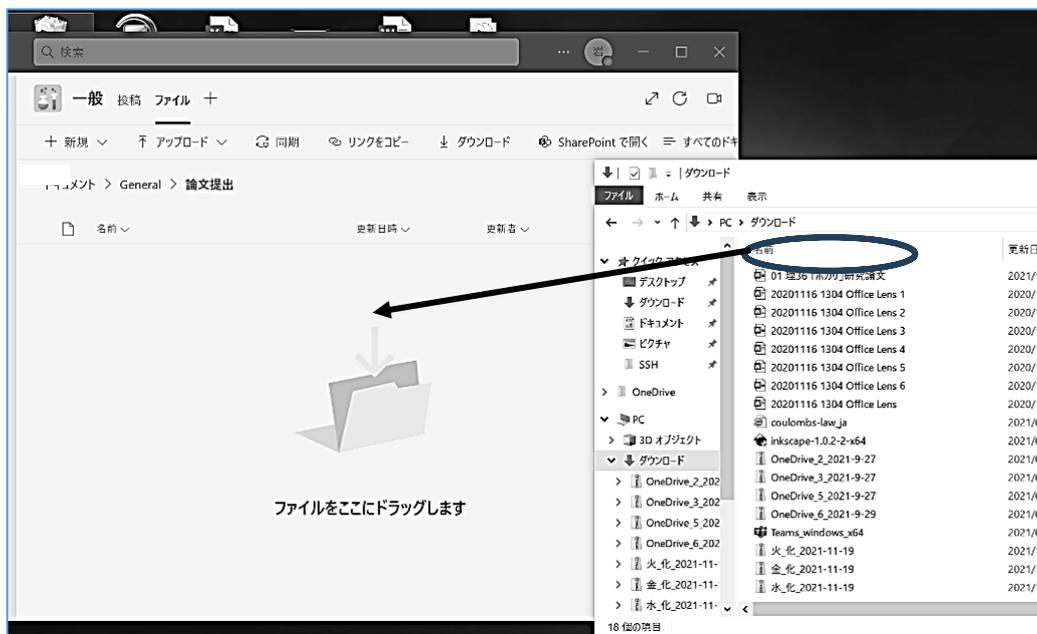


④論文バックアップ>今日の

日付のフォルダ をクリック

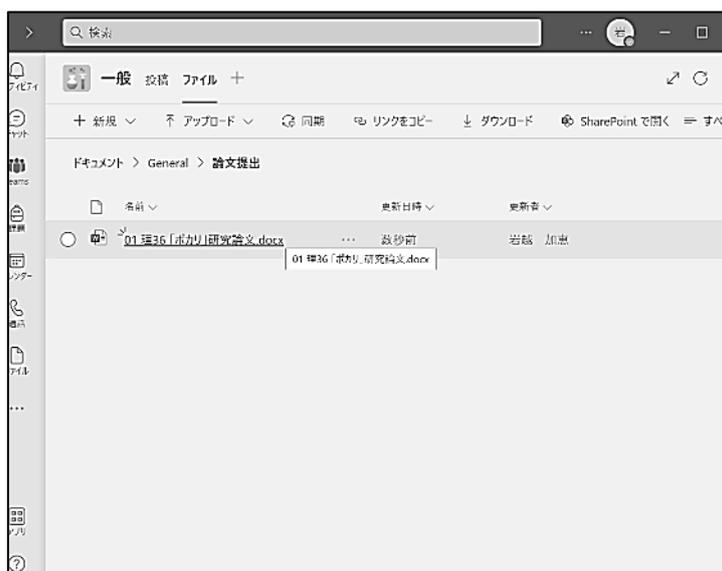


⑤先ほど名前を変更した論文を teams にドラッグする。



⑥フォルダ  
ータが入っていることを確認

内に論文デ



※注意

- ・論文作成をした日に必ず行うこと。(毎回同じ人のタブレットで行う)
- ・バックアップした論文を編集しないこと。